

## 実践の紹介「ほめる・受け止める」

ここで紹介するのは、人とかがわる基本的な技能を高めるための「ほめる・受け止める」の指導例です。小学校高学年での実践をもとにしていますが、小学校低・中学年や中学校への応用も可能です。なお、昨年度発刊した教育実践資料集の中の「アサーティブな自己表現の力を身に付ける授業」も参考になります。

**活動名：**「ほめる・受け止める」

**ねらい：**相手のよさを認めることやそれを素直に受け止めることが、両者にとって好ましい人間関係を築くことを捉えさせる。

**期待する子供の意識：**「友達のよいところを認めて伝え合つと、お互いに気持ちがいいなあ。普段の生活でも、やってみよう。」

### 1 ウォーミングアップ

学級全体の雰囲気や和らげたり、ロールプレイへの抵抗を取り除いたりするために、授業の始めに位置付けて行います。そのウォーミングアップを行う際は、主活動との関連を考えて設定することが大切になります。次に、ウォーミングアップの例を紹介します。

#### 〈例1〉「後出しジャンケン」

「後出しジャンケン」をします。先生に負けるように出しましょう。



\* 教師が「ジャンケンポン」と出し、次に子供が「ポン」と言いながら、それに負けるように出す。普通のジャンケンをした後、後出しジャンケンを行う。

#### 〈例2〉「ジャンケン列車」

「ジャンケン列車」をします。最後まで残る人はだれでしょう。では、はじめます。



\* 二人でジャンケンをして、勝った人の後ろに負けた人がつながる。次に勝った人同士がジャンケンをして、勝った人の列の後ろに負けた人の列がつながる。最後は、学級全員が一列になる。

#### 〈例3〉「アウチでよろしく」

\* 人差し指を1本出して向かい合い、お互いの指と指の先を触れ合い、同時に目を見つめ合い、「アウチ」とあいさつする。

#### 〈例5〉「ジャンケン肩もみ」

\* ジャンケンで負けた人が勝った人の肩を揉む。その際、最近の出来事を思いつくままに話す。交替して同様に行う。

#### 〈例4〉「いろいろ握手」

\* 歩き回っていろいろな人と握手をする。  
・指先で握手　・片手で握手  
・両手で握手　・頭と頭をこっつんこ

#### 〈例6〉「パッチンジャンケン」

\* 左手は握手の状態、「パッチンジャンケンポン」と言って、右手でジャンケンをする。勝った方は相手の手の甲を叩き、負けた方は手のひらで守る。